

# 研究名：気管切開患者における気管分泌物アミラーゼ濃度を用いた誤嚥の評価に関する後方視的研究

## 1．研究の目的

在宅医療を要する気管切開状態の患者において、唾液の誤嚥は気管内吸引など医療的ケアの負担増大や誤嚥性肺炎の発生につながります。唾液に含まれるアミラーゼが気管内でどの程度検出されるのかを調べることで、誤嚥の程度を評価することが目的です。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて2002年3月～2022年8月に当院を受診された気管切開のある患者のうち、口腔内または気管内分泌物でアミラーゼを測定された患者。

研究期間：倫理審査委員会承認後1年間

研究方法：電子診療情報データベースの情報を遡及的に分析します。

## 3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、気管内分泌物・血液・胸部画像検査 等

**患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2023年2月28日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 総合診療部 飯島 弘之

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7416）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 久保田仁美